

2023年6月期 決算説明会資料

目次

■ I. 決算概要		■ II. 今後の事業戦略	
決算サマリー	1	基本戦略	12
グラフでみる当社グループの推移・動向	2	将来目標	13
当社グループの事業内容、セグメント売上高	4	■ III. Appendix	
事業セグメント、事業内訳の状況	5	セグメントごとの納入事例・紹介	14
2023年6月期 決算のトピックス	6	事業拠点	24
配当について	9	注意事項	25
財務状況	10		
2024年6月期連結業績予想	11		

Fleur Universelle

1. 決算概要

決算サマリー

要約連結損益計算書、1株当たり指標

■先行き不透明な状況下、当期業績は増収増益

売上に関しては20%UP

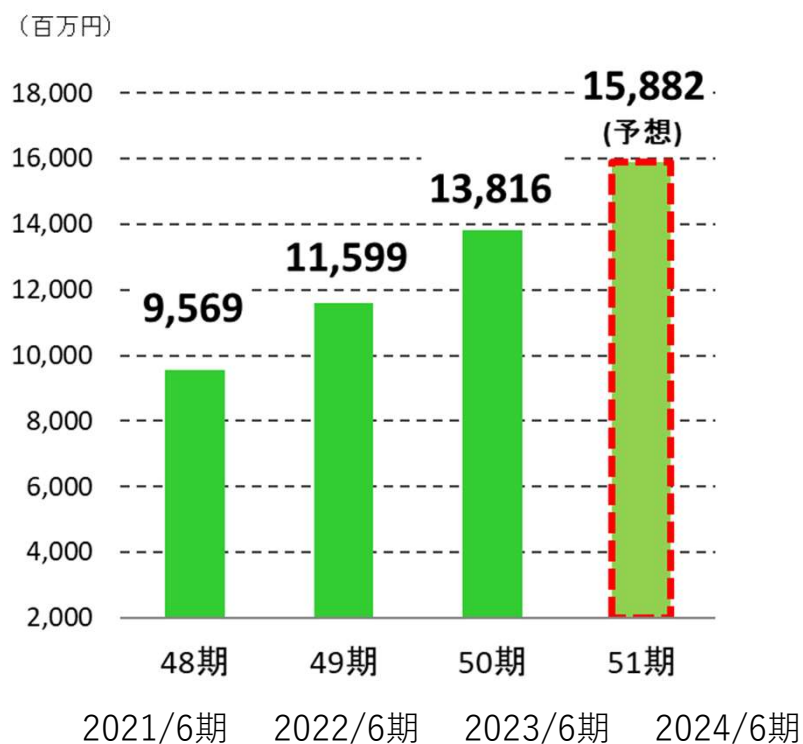
グリーン事業、卸売事業は増収増益、小売事業は増収減益

(百万円)

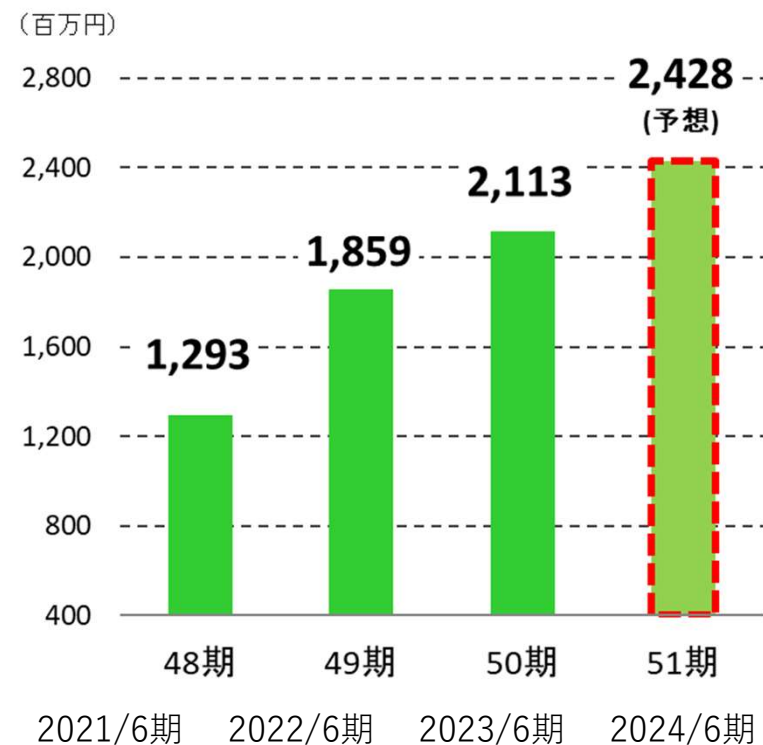
	第49期 (2022年6月)		第50期 (2023年6月)		
		百分比(%)		百分比(%)	前期比 (%)
売上高	11,599	100.0	13,816	100.0	19.1
営業利益	1,859	16.0	2,113	15.3	13.7
経常利益	1,963	16.9	2,183	15.8	11.2
親会社株主に帰属する当期純利益	1,382	11.9	1,494	10.8	8.1
1株当たり当期純利益 (円)	288.50		315.31		
1株当たり純資産 (円)	1,954.36		2,244.17		

グラフでみる当社グループの推移・動向

売上高

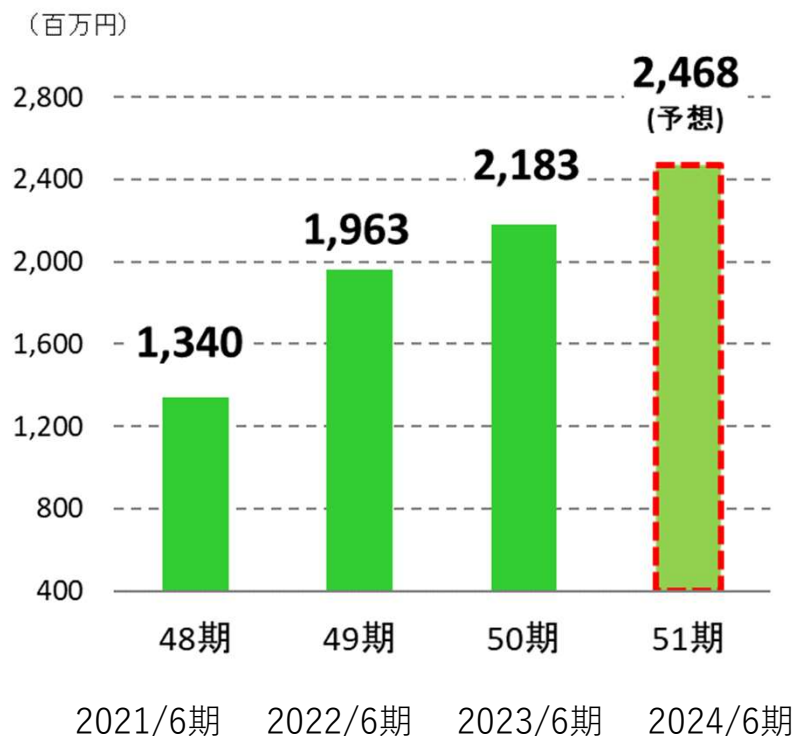


営業利益

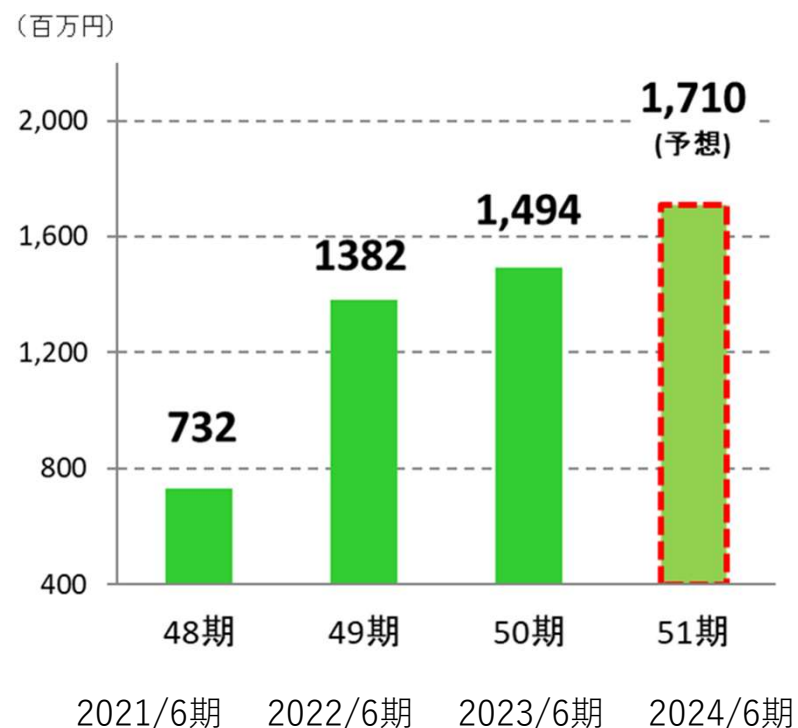


グラフでみる当社グループの推移・動向

経常利益

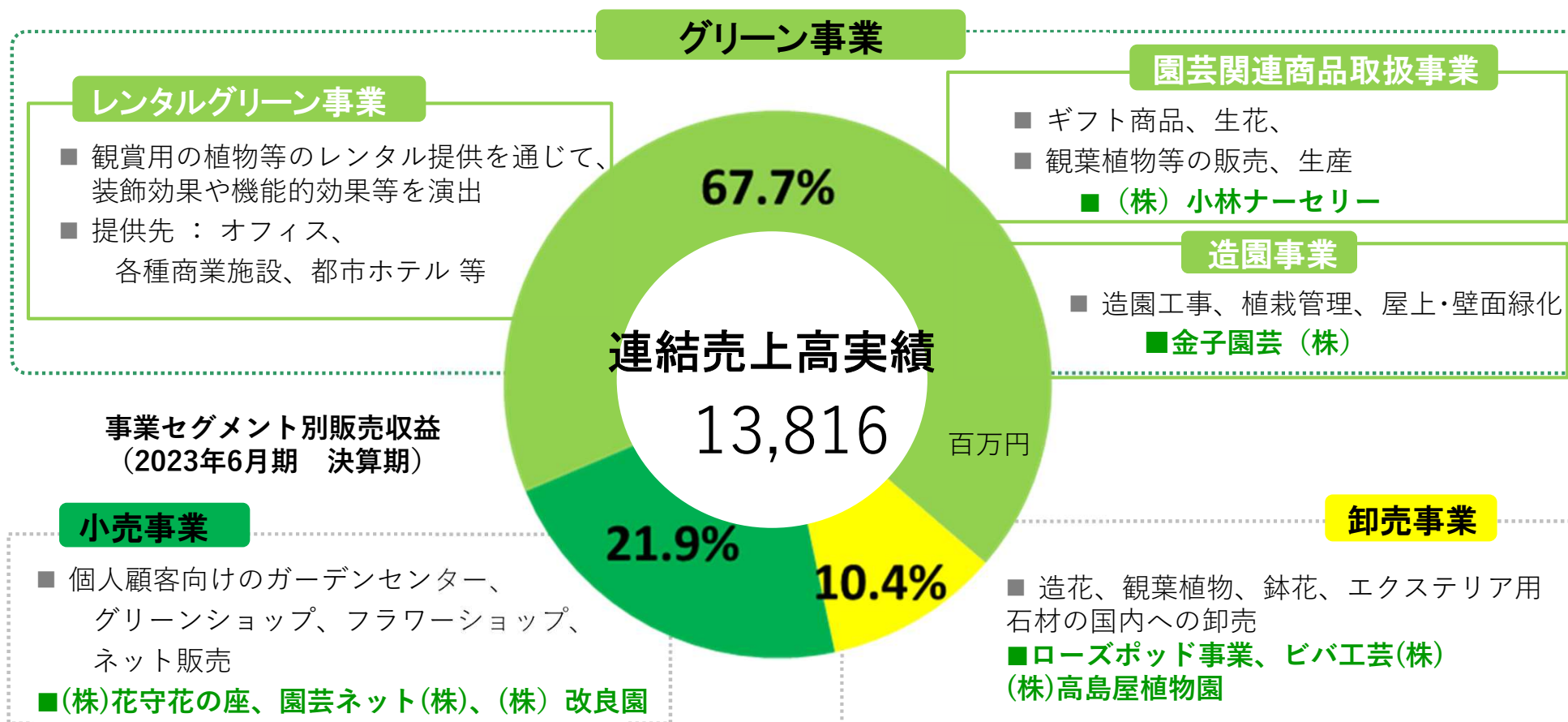


親会社株主に帰属する当期純利益



当社グループの事業内容、セグメント売上高

■ グリーン事業が連結売上高の約68%



※円グラフはセグメント間の内部取引高を含めた比率で表示しております。

事業セグメントおよびグリーン事業内訳（エリア別）の状況

事業セグメント

		(百万円)		
		第49期 (2022/6期)	第50期 (2023/6期)	前期比 (%)
グリーン事業	売上高	7,697	9,650	25.4
	営業利益	1,448	1,786	23.3
卸売事業	売上高	1,388	1,477	6.4
	営業利益	119	126	6.0
小売事業	売上高	2,916	3,128	7.3
	営業利益	250	154	-38.3

グリーン事業におけるエリア別内訳

		(百万円)		
		第49期 (2022/6期)	第50期 (2023/6期)	前期比 (%)
関東エリア	売上高	3,915	4,849	23.9
	営業利益	894	1,031	15.3
関西エリア	売上高	2,048	2,378	16.1
	営業利益	493	583	18.3
海外エリア	売上高	1,733	2,422	39.7
	営業利益	60	171	182.6

- グリーン事業はレンタルグリーンの契約、マーケティング活動にも注力し、計画通り推移し増収増益
- 卸売事業は希少価値の高い植物や植物関連商材の取り扱いを強化し、増収増益
- 小売事業は植物の需要が落ち着き、燃料費、電気料等の資源・エネルギー、原材料の高騰、人件費の増加、新規出店の設備償却負担増加に伴い増収減益

※各業績数値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

※セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2023年6月期 決算のトピックス

■ M&A ①

◆ 2022年8月に事業譲受により、グリーンSHOP「WORLD GARDEN」がOPENしました。

事業内容：植物、園芸関係資材の個人向け販売

所在地：東京都江戸川区



WORLD GARDEN 外観写真

■ M&A ②

◆ 2022年8月に、造園事業の強化、業容拡大のため、金子園芸株式会社をグループ化しました。

事業内容：造園、植栽管理

所在地：神奈川県横浜市

創業：1976年

強み：横浜市の入札案件、公共、法人、個人含め幅広く対応可能



金子園芸 集合写真

2023年6月期 決算のトピックス

M&A ③

◆ 2022年11月に、通信販売の強化、業容拡大のため、株式会社改良園をグループ化しました。

事業内容：植物のカタログ通信販売

所在地：埼玉県川口市

創業：1950年

強み：個人顧客への販売、特殊、希少品種、海外を含めたあらゆる植物の仕入網



■植物カタログ

「Green Shop」と「お花やさん」というカタログは年2回、40,000部を購入履歴のあるお客様に送付しています。「園芸世界」というカタログは有料年間会員2,500名に年6回送付しています。

2023年6月期 決算のトピックス

■ M&A ④

- ◆ 2023年6月に、海外におけるグリーン事業の更なる発展と成長を加速させるため、当社の米国子会社であるローリング・グリーンズ・インクはインナーグリーン・インクをグループ化しました。

事業内容：植物の小売及びオフィス等への販売・メンテナンス

所在地：アメリカ合衆国オハイオ州

強み：オハイオ州を中心とした高品質な植物のデザインサービス



■ 新規出店

- ◆ 2022年11月にららぽーと堺内に、グリーンSHOP「SOW the Farm UNIVERSAL」がOPENしました。

事業内容：植物、園芸関係資材の個人向け販売

所在地：大阪府堺市



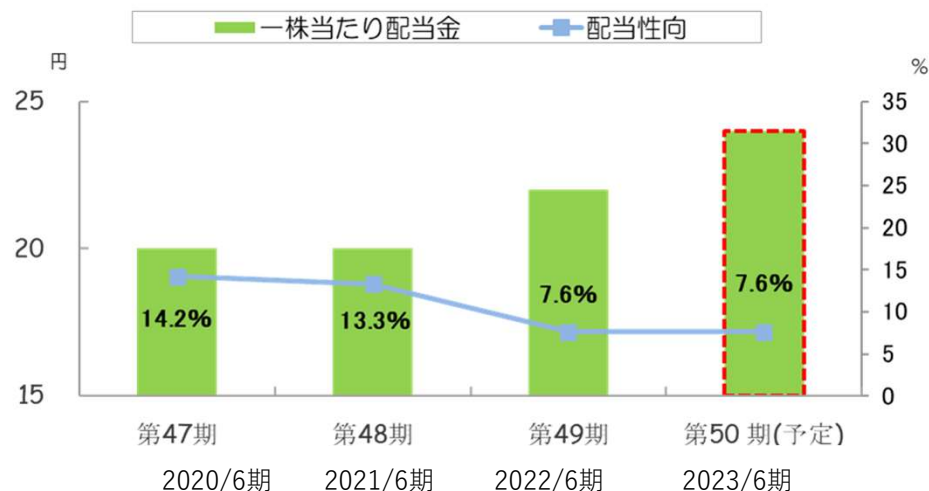
ららぽーと堺 店内写真

配当について

配当総額の推移

2019年6月期	96,090,320円
2020年6月期	96,088,220円
2021年6月期	96,088,220円
2022年6月期	104,595,964円
2023年6月期	112,848,000円(予定)

配当金の推移



配当方針

- ・先行き不透明な情勢の中、積極的な事業投資、M&Aへの資金確保、新たなチャレンジ、出店への資金として内部留保の確保等により財務体質と経営基盤の強化を図ります。企業価値向上および、株主への長期的な利益還元を経営上の重要政策と認識し、継続的かつ安定的な配当を実施します。
- ・配当水準については、安定的な株主還元を主軸に、利益水準や市場動向を踏まえて適宜見直しを検討します。

株主優待制度

基準日	保有株式数	優待内容	発送時期
6月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 2,000円分	9月下旬
12月末日	100株以上	当社オリジナルクオカード 1,000円分	3月上旬

※本会計年度より、6月末日を基準日とした100株以上の保有につきまして、クオカード1,000円分から2,000円分に変更しております

財務状況

連結貸借対照表

第49期 決算期(2022/6月末)

(百万円)

流動資産	6,961	流動負債	1,508
(うち手元流動性)	4,969	固定負債	578
固定資産	4,417	負債計	2,087
(うち投資その他資産)	1,507		
		純資産計	9,291 ※81.7%
総資産計	11,379	負債・純資産計	11,379

第50期 決算期(2023/6月末)

(百万円)

		前期末比(%)				前期末比(%)	
流動資産	7,541	8.3	流動負債	1,668	10.6		
(うち手元流動性)	5,275	6.2	固定負債	807	39.5		
固定資産	5,502	24.6	負債計	2,476	18.6		
(うち投資その他資産)	2,374	57.6					
			純資産計	10,568	13.7 ※81.0%		
総資産計	13,044	14.6	負債・純資産計	13,044	14.6		

※自己資本比率

※手元流動性は、当社連結貸借対照表の流動資産項目のうち、現金及び預金並びに有価証券の合計額を記載しております。

2024年6月期連結業績予想

業績予想のポイント

物価高騰で先行き不透明な状況、、、

- レンタルグリーンシェア拡大および既存顧客の契約維持
- 小売事業の消費拡大、経費削減、堅実な経営をベースに新規出店検討
- 海外事業の既存顧客の売上確保および経費削減
- レンタルグリーン事業のお客様よりギフト、ランドスケープ等波及した園芸関連商品の受注拡大
- 経費削減等による収益力強化

(百万円)

	第50期 (2023/6期)		第51期予想 (2024/6期)		
	百分比 (%)		百分比 (%)	前期比 (%)	
売上高	13,816	100.0	15,882	100.0	15.0
営業利益	2,113	15.3	2,428	15.3	14.9
経常利益	2,183	15.8	2,468	15.5	13.1
親会社株主に帰属する当期純利益	1,494	10.8	1,710	10.8	14.5
1株当たり当期純利益 (円)	315.31		363.67		
1株当たり配当金 (円)	24.00		24.00		

II. 今後の事業戦略

1 グリーン事業の収益基盤の強化

- グリーンサービスの既存顧客の受注拡大、新規顧客の開拓
- レンタルグリーンのシェア拡大 → レンタルグリーン市場における当社の国内シェア
・ ・ 推計7%程度※ ⇒ **シェア拡大余地は大きい**

2 M&Aによる業態の拡大

- 相乗効果による事業拡大

3 新商材・販路拡大

- 成熟化市場に対して需要喚起をもたらす新商材やネット通販など新たな手法を導入

4 小売事業へのチャレンジ

- フラワー、ガーデンショップの店舗数を拡大

5 海外事業の展開

※当該推計値は矢野経済研究所「フラワー&グリーン市場に関する調査結果2019」のグリーン市場におけるリース外業404億円に対する、2023年6月期の当社国内売上高における、レンタルグリーン売上高2,985百万円の割合を記載しております。

将来目標

世界一の園芸会社

2028年6月期（第55期）

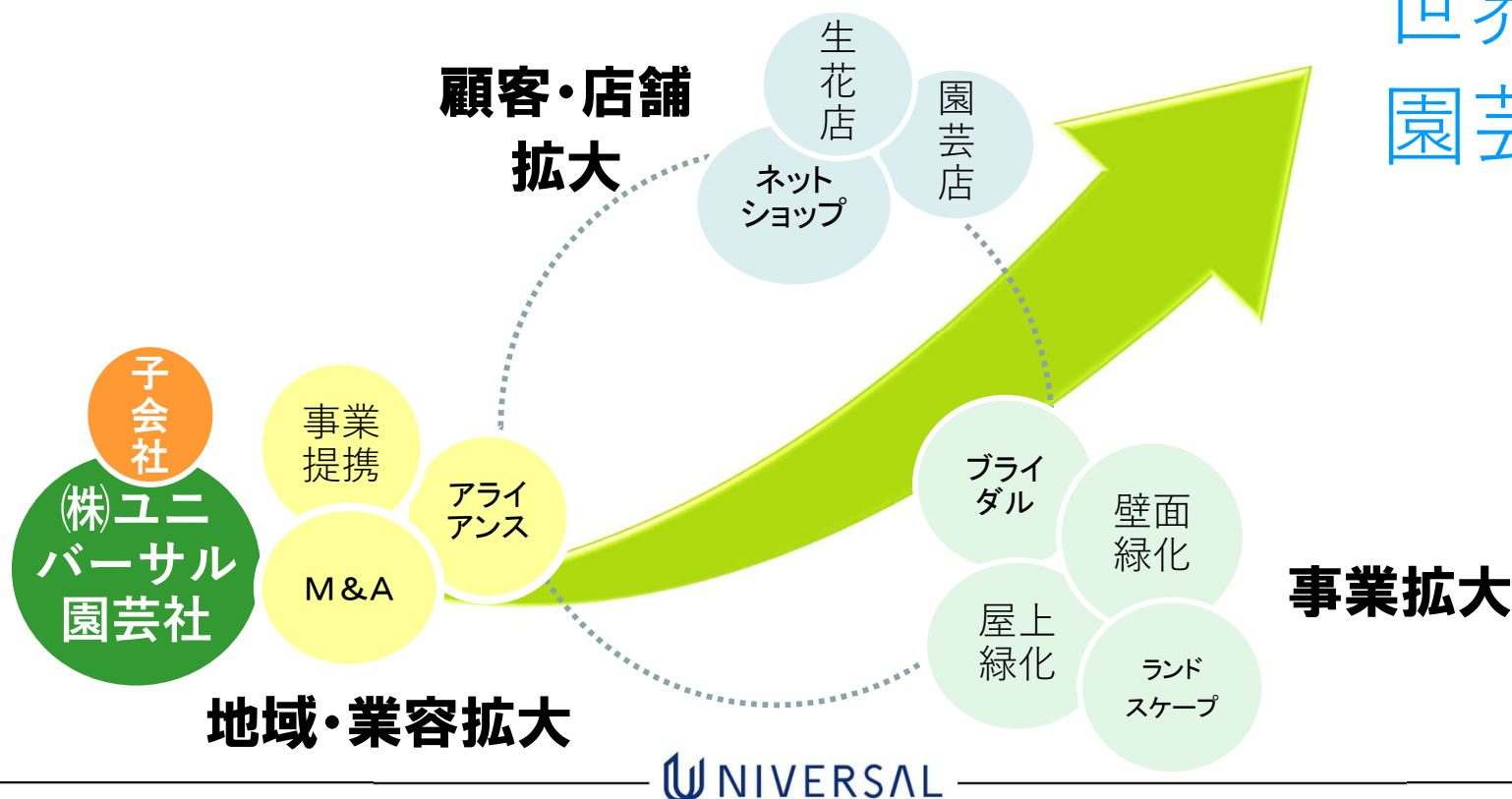
売上

連結売上高 300億円

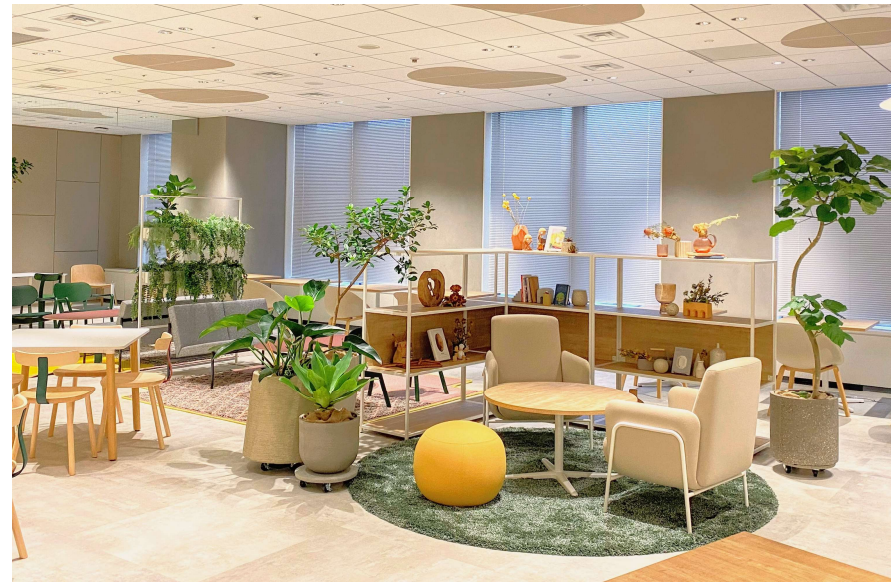
利益

連結当期純利益 30億円

事業戦略推進のイメージ



セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン） オフィス、エントランス他

セグメントごとの納入事例・紹介



グリーン事業（レンタルグリーン）室内壁面装飾、アートフラワー

セグメントごとの納入事例・紹介

2007年12月 上海進出（上海寰球園芸産品租賃有限公司）。

2015年4月 ワシントンD.C.進出 ローリング・グリーンズ・インク社を子会社化。

2016年2月 セッジフィールド・インテリア・ランドスケープ・インク社より、2支店を事業譲受。

2016年5月 プレミア・プラントスケープス・エルエルシーより、植物のオフィス向け販売・メンテナンス事業を譲受。

2018年6月 シンガポール進出、ミラージュグリーン社を子会社化。

2023年6月 ローリング・グリーンズ・インクによるインナーグリーン・インクの事業譲受。



グリーン事業（海外エリア 上海/アメリカ/シンガポール）

セグメントごとの納入事例・紹介



むさしの森珈琲様



Innisfree様

グリーン事業（外構植栽、屋上緑化、壁面緑化）

セグメントごとの納入事例・紹介



フジクラ様



前田建設工業様

グリーン事業（季節商品（クリスマス等）、イベント、ブライダル事業）

セグメントごとの納入事例・紹介



家coco様



グリーン事業(造園事業、ネット事業、ギフト事業、小林ナーセリー)

セグメントごとの納入事例・紹介

■ ガーデンセンター

「the Farm UNIVERSAL」
(ザ ファーム ユニバーサル) ・大阪本社 ・千葉 ・北九州

■ グリーンショップ

「the Farm UNIVERSAL」
(ザ ファーム ユニバーサル) ・グランベリーパーク南町田 ・ロフト銀座店
・ロフト名古屋店

「花と緑と雑貨のお店 りこしえ+」 ・ランチ神戸学園都市店 ・イオンモール四條畷店

「SOW the Farm UNIVERSAL」 ・くずはモール店 ・EXPOCITY店 ・幕張新都心店
・ららぽーと堺店 (2022年11月OPEN)

「WORLD GARDEN」 (2022年8月OPEN)

■ カフェ

「FARMER'S KITCHEN」
(ファーマーズ キッチン) ・大阪本社 ・千葉 ・グランベリーパーク南町田 ・北九州

「Les Grands Arbres」
(レ・グラン・ザルブル) ・広尾店

■ フラワーショップ

「Fleur Universelle petit」 ・東急[®] 蒲田店 「Fleur Universelle」 ・広尾店
(フルール ユニヴェセール プティ) (フルール ユニヴェセール)



(ザ ファーム ユニバーサル北九州)



(ファーマーズキッチン 大阪)

小売事業(the Farm UNIVERSAL / FARMER'S KITCHEN)

セグメントごとの納入事例・紹介



小売事業(花と緑と雑貨のお店 りこしえ+ / Fleur Universelle)

セグメントごとの納入事例・紹介



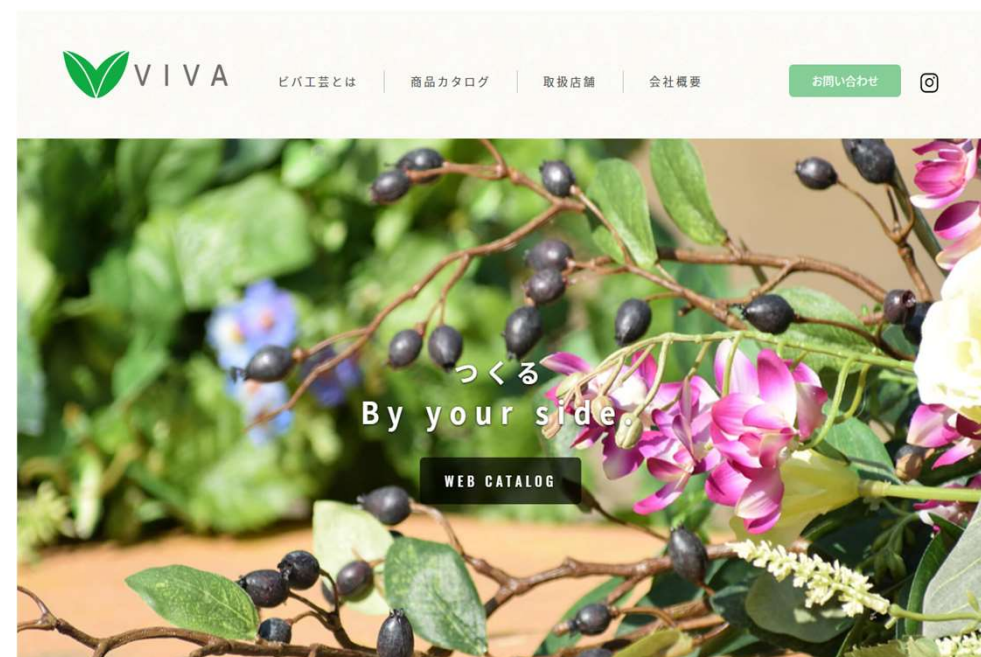
(園芸ネットHP)

小売事業(園芸ネット)

セグメントごとの納入事例・紹介



(高島屋植物園園芸センター)



(ピバ工芸)

卸売事業(高島屋植物園、ピバ工芸)

事業拠点

- 東京・名古屋・大阪の3大都市圏を中心としたサービス提供網を構築
グループ会社を含め、世界へ拠点を展開

【本支店】13事業所

○関西エリア

- 1.大阪本社
- 2.京滋支店
- 3.神戸支店
- 4.大阪南支店

○中部エリア

- 1.名古屋支店

○関東エリア

- 1.東京本社
- 2.東京南支店
- 3.東京東支店
- 4.東京西支店
- 5.東京北支店
- 6.横浜支店
- 7.東京中央支店
- 8.目黒支店

【店舗】20店舗

○関西エリア

- 1.ザファーム大阪（大阪）
- 2.ファーマーズキッチン大阪（大阪）
- 3.りこしえイオンモール四條畷店（大阪）
- 4.りこしえ ブランチ神戸学園都市店（兵庫）
- 5.ソウザファームくずはモール店（大阪）
- 6.ソウザファームEXPOCITY店（大阪）
- 7.ソウザファームららぽーと堺店（大阪）

○中部エリア

- 1.ザファーム名古屋店（愛知）

○関東エリア

- 1.ザファーム千葉（千葉）
- 2.ファーマーズキッチン千葉（千葉）
- 3.フルール・ユニヴェセール
- 4.レ・グラン・ザルブル（東京）
- 5.フルール・ユニヴェセールプティ（東京）
- 6.ザファーム南町田（東京）
- 7.ファーマーズキッチン南町田（東京）
- 8.ザファーム銀座（東京）
- 9.ソウザファーム幕張新都心店（東京）
- 10.ワールドガーデン（東京）

○九州エリア

- 1.ザファーム北九州（福岡）
- 2.ファーマーズキッチン北九州（福岡）

[海外連結子会社]

- 1.上海寰球園芸産品租賃 有限公司<グリーン事業>
(2007年12月設立)
- 2.ローリング・グリーンズ・インク社<グリーン事業>
(2015年4月子会社化)
- 3.ミラージュグリーン社<グリーン事業>
(2018年6月子会社化)

[国内連結子会社]

- 1.ビバ工芸（株）<卸売事業> (子会社化) 2009年11月
- 2.（株）花守花の座<小売事業> 2013年 2月
- 3.（株）高島屋植物園<卸売事業> 2015年 4月
- 4.園芸ネット（株）<小売事業> 2018年 10月
- 5.（株）小林ナーセリー<グリーン事業> 2020年 7月
- 6.金子園芸（株）<グリーン事業> 2022年 8月
- 7.（株）改良園 <小売事業> 2022年 11月

注意事項

- この資料は投資家の参考に資するため、株式会社ユニバーサル園芸社（以下、当社）の現状をご理解いただくことを目的として当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、2023年8月25日現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。
- 投資に際しての最終的なご判断は、投資家ご自身がなさるよう、宜しくお願い致します。